

大阪経済記者クラブ会員各位

【問合せ先】大阪商工会議所 経済産業部 スポーツ産業振興担当  
TEL：06-6944-6403（東、倉骨）

## スポーツ産業振興プラットフォーム「スポーツハブ KANSAI」 世界最大規模のスポーツ用品見本市「ISPO」との連携事業の実施について

- 大阪商工会議所は、ドイツで毎年開催される世界最大規模のスポーツ用品見本市「ISPO」との連携事業を、11月7日（水）～9日（金）に、大阪観光局とともに開催する。
- 欧州や中国の企業10～20社が参加し、関西企業の施設・取り組み等の視察会（11月7日）や、海外のスポーツ市場を紹介するシンポジウム（11月8日）、日本企業とのマッチング商談会（11月9日）などを行う。
- 11月8日のシンポジウムでは、本会議所の鳥井信吾副会頭による冒頭挨拶の後、ISPOグループのディレクターであるトビアス・グローバー氏ら、海外のキースピーカーによる講演を行い、海外のスポーツ市場の現況や今後の可能性、先進的なビジネス手法の事例等を紹介する。併せて、日本企業との連携を希望する海外企業が、協業テーマを発表するセッションも実施。11月9日には、それらに関心を持った日本企業とのビジネスマッチング商談会を実施する。
- 本事業は、大阪商工会議所、京都商工会議所、神戸商工会議所が共催し運営するスポーツ産業振興プラットフォーム「スポーツハブ KANSAI」事業の一環として実施するもの。MICE誘致を進める大阪観光局がISPOに対して連携事業を提案したことがきっかけで実現。アジアへのプロモーション、日本企業とのネットワーク構築を検討する「ISPO」と、500社以上が登録する企業間連携のマッチングプラットフォームである「スポーツハブ KANSAI」がパートナーシップを組むことで、より効果的な展開を目指す。ISPOが、日本で合同シンポジウム、視察会、マッチングイベントを包含した一連の事業を開催するのは初めて。
- 本連携事業は、来年度以降も継続的に実施していく予定であり、「スポーツハブ KANSAI」は、今後も海外企業とのネットワーク構築の機会を提供していく。

以上

<添付資料> ISPO×スポーツハブ KANSAI 連携事業について

## ISPO×スポーツハブ KANSAI 連携事業について

大阪商工会議所

- 趣 旨：大阪商工会議所は、ドイツで毎年開催される世界最大規模のスポーツ用品見本市「ISPO」との連携事業を、ISPO、大阪観光局との共同主催で実施する。本事業は、スポーツ産業振興プラットフォーム「スポーツハブ KANSAI」事業の一環として行われ、本事業を通じて、海外スポーツ産業市場についての情報提供や、欧州・中国から来阪する海外企業とのネットワークの構築機会を提供する。
- 経 緯：近年、北京や上海でも見本市を開催する等アジア展開にも注力しており、日本市場へのプロモーションを行いたい ISPO と、スポーツ産業振興プラットフォームとして企業間連携を促進するスポーツハブ KANSAI の考えが合致し、関西での事業開催に至った。
- 目 的：①海外企業との相互交流、ビジネスマッチングの場を提供する。  
②事業の継続的な実施により、スポーツ産業振興の拠点としての大阪・関西のプレゼンスを向上させる。
- 主 催：ISPO 日本事務局、大阪商工会議所、大阪観光局
- 日 時：2018年11月7日(水)～9日(金)  
※11月7日(水)―海外企業による関西企業施設・取り組みの視察  
11月8日(木)―海外市場の現状、事例等を紹介するシンポジウム(詳細次頁)  
11月9日(金)―海外企業と国内企業のマッチング商談会
- 来阪企業：欧州・中国から計10～20社程度

### <ISPO について>



#### 概 要：

世界で50ヶ国以上、約2,600以上のブランドが出展する世界最大のスポーツ用品の見本市。

ドイツ・ミュンヘン、中国・北京、上海にて開催している。2019年より OutDoor by ISPO として夏の展示会も開催する。

ISPO ミュンヘン  
2017年度実績

開催日：2018年1月28日～31日

来場者数：84,000人

出展社数：2,801社



## <シンポジウム概要>

- ◆日 時：11月8日(木) 13:00～17:00(予定)
- ◆場 所：大阪市中央公会堂 大集会室
- ◆定 員：500名
- ◆内 容：海外のスポーツ関連企業や有識者による講演やトークセッションを通じて、海外のスポーツ市場の動向や今後の可能性、最新のトレンド情報、さらには新たなビジネス手法について等の情報提供を行う。  
また、海外企業による協業テーマの提示を行い、関心を持つ日本企業とのビジネスマッチングを行う。

### ◆プログラム：(予定)

	氏名	役職
冒頭挨拶	鳥井 信吾	大阪商工会議所 副会頭／スポーツ産業振興委員会 委員長
基調講演	トビアス・グローバー	メッセ・ミュンヘン ISPO グループ ディレクター
	ISPO の概要、連携事業への期待について 等	
	マーク・ヘルド	ヨーロッパアウトドアグループ 事務局長
	ヨーロッパのスポーツ市場の現状や最新のトレンド、今後の可能性について	
事例紹介	クリストフ・ラップ	ISPO ミュンヘン インターナショナルセールス&リテールマネジャー
	廣田 章光	近畿大学 経営学部 商学科 教授／ スポーツハブ KANSAI スーパーバイザー
	欧州の先進的なビジネス手法の事例、中国のスポーツ市場の現状について 日本のスポーツ市場におけるそれらの展開可能性について 等	
連携テーマ提示	海外企業数社による協業企業の募集テーマ提示セッション 関心のある企業とは翌日の商談会にて個別面談を実施	

## <スピーカーについて>



**トビアス・グローバー** メッセ・ミュンヘン ISPO グループ ディレクター  
1997年にメッセ・ミュンヘンに入社し、1999年にISPOのプロジェクトマネージャーに就任。2004年には現在の役職であるコンシューマーグッズビジネスユニットの執行役員に就いた。

ISPOグループでは、ISPO ミュンヘン、北京、上海の他に、OutDoor by ISPO や、ISPO デジタイズ、ISPO オープンイノベーション、ISPO アカデミー等も担当する。



**マーク・ヘルド** ヨーロッパアウトドアグループ 事務局長

ロウ アルパインやバークハウスなど大手のアウトドア会社での役員を務めるなど、アウトドア業界で30年以上の経験をもっている。

断片化されていたアウトドア業界をまとめる為に、ヨーロッパアウトドアグループ(EOG)を2003年に立ち上げたメンバーの一人。

2005年に、現在のポジションであるヨーロッパアウトドアグループ事務局長に就任した。

以 上